

# 学校関係者評価(平成22年度)

大津市立真野中学校

A：十分達成されている B：おおむね達成されている C：成果が十分でない D：改善を要する

## 1. 学校評価等

	評価設題	自己評価		学校関係者評価	
		期	期	意見・提言等	
1	教育活動等について自己評価を行い、その結果を公表している。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価についてはいろいろな資料が出ているので、自分を振り返るには良いと思う。それまでの反省を客観的にすることができる。</li> <li>評価の結果を次年度にどのように生かしていくかが大きな課題である。</li> <li>HPで結果を公表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表については、昨年度に比べてかなり改善されてきている。自己評価が厳しいのではないか。Aの評価でもよいのではないか。</li> <li>教育活動等の様子についてはPTAの各種会議や学年通信等で伝わってきており、今年度は特にHPも充実してきている。</li> </ul>
	○自己評価結果の公表				
	○学校関係者評価の実施				
	○学校関係者評価の公表				

## 2. 教育課程等

	評価設題	自己評価		学校関係者評価
		期	期	意見・提言等
2	教育課程の計画的実施に努め、標準授業時数の確保が十分なされている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観等でも落ち着いた状況である。</li> <li>家庭学習にも力を入れてほしい。</li> <li>課題を与えることにも工夫してほしい。</li> <li>少人数指導配置について、今後は懸念されるが、ぜひ予算はつけてほしい。</li> <li>財政が厳しいだからといって、現状のレベルを維持してほしいし、教育特に義務教育関係を削ることのないようにしてほしい。</li> </ul>
3	基礎・基本の定着をめざした取り組み等により、確かな学力が身についている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習を意図的に増やし、学習習慣をつけることを目指している。</li> <li>各教科で、基礎・基本の定着をめざす取り組みを実施しているが、確かな学力の定着をはかることは難しい状況である。</li> <li>概ね、落ち着いた学習状況である。</li> <li>少人数指導(数学、英語)によるきめの細かい指導を行っている。</li> <li>「こだわりの5分」や指導方法を工夫し、生徒が理解できるよう努力できている。</li> </ul>	
4	生徒の興味・関心や習熟の程度に応じて、指導体制や指導方法を工夫し、習熟度別指導や少人数指導等によるきめ細かな指導を行っている。	B		
5	職場体験や福祉・ボランティアの活動を豊かに進めている。	B		
	○各種体験活動の積極的な実施			
	○活動後の発表会等学習のまとめ			
	○発表会等への保護者等の参加	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験は、最初不安でもあったが、生徒は楽しみでも有り、ワクワクした気持ちである。</li> <li>体験場所の確保の難しさがわかる。</li> <li>体験することが目的でも良いのではないか。</li> <li>夏休み中の活動は家の事情も考慮してほしい。実施する場合は早くに知らせしてほしい。</li> <li>真野中が体験している事業所に職</li> </ul>

					等でわかりやすくしては。
6	特別支援教育に対する校内指導体制は整い、個に応じた適切な指導が行われている。		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修で、特別支援に関する知識が得られその後の取組に活用できた</li> <li>特別支援学級の生徒は支援されているが、普通学級の必要な生徒は支援できていない面がある。</li> <li>特別支援を必要としている生徒はたくさんいると感じながら、具体的な手立てを講じることができていない現状がある。</li> <li>普通学級の生徒に対して十分な個別合いができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校の生徒数はどれくらいいるのか。</li> <li>不登校気味の生徒に対して、時間を超越して熱心に取り組んでいる。</li> <li>発達障害への取り組みについては、現状の教員数では無理ではないのか。より専門的な人がいなくては、成果は上げられないのでは。</li> <li>特別支援機養育のできる体制や人を国や県が考える必要がある。</li> <li>発達障害の判断は医療機関であるならば、今の学校の状況では無理なことが多いのでは。</li> </ul>
	○個別指導計画の作成		B		
	○組織的・計画的な特別支援教育体制の確立		B		
	○巡回訪問等を活用した校内研修		C		

### 3. 学校の取り組み等

評価設題	自己評価		学校関係者評価
	項	項	意見・提言等
7 朝読書活動が定着している。 ○週1回以上の全校一斉読書 ○読書環境の整備や地域人材等の活用 ○音読、群読、暗唱等発表の場の設定		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書の時間はほとんどの生徒が静かに取り組んでいる。</li> <li>読書の定着率は大変良く、生徒自ら進んで読書に取り組んでいる。</li> <li>朝読書は定着しているが、できていない生徒・宿題をしている生徒・遅刻生徒もいる。</li> <li>ただ漠然と読書に取り組むだけではなく、クリティカルリーディング(批判的な読み)も必要である。</li> </ul>
		A	
		B	
		C	
8 学習規律の確立と習慣化の指導ができています。		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習について、十分にできていない生徒が多い</li> <li>家庭学習の状況把握については不十分である。</li> <li>補充学習にももっと力を入れたいが時間の確保が難しい。</li> <li>行事については、教師主導というものが多く、生徒が自主的に運営できる場ももっとあるとよい。</li> <li>部活動に関しては、しっかりと指導しきれていない面がある。(平日の直接指導ができていないことがある)また、下校時間が守れないなど課題も多い。</li> <li>部活動のあり方そのものを考える時期にきている。</li> </ul>
9 生徒の家庭学習の状況を把握し、適切な指導ができています。		C	
10 行事が創造的に行われ、生徒の自主的な取組を進めている。		B	
11 部活動は、適切な運営がなされ、健全な心身を育成している。		B	
		B	

#### 4. 生徒指導等

評価設題	自己評価		学校関係者評価
	項目	現状	
12 友だちとの豊かな人間関係づくりや集団生活へのルールやマナー等が身につくよう指導に努めている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談や不登校傾向生徒への対応については、きめ細やかな指導を十分にやってもらっていると思うが、より以上のことは人的配置の充実が必要では。</li> <li>・自転車通学の実態は。</li> <li>・子どものマナーよりも大人のマナーの悪さが気になる。地域の大人から範を示すべき。</li> <li>・交通安全のルールを守ることは登校時概ねできているように思うが、下校時はややルールが守れていないし、いたずらするケースも見受けられる。</li> <li>・「飛び出し坊や」がいたずらされたのは残念。</li> </ul>
13 生徒の生活実態を把握し、基本的な生活習慣が確立できるように努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子を把握しながら、安定した学級・学年運営ができています。</li> <li>・基本的なルールは守ろうと多くの生徒はきちっと生活できている。しかしながら、正義が通らない傾向があり全職員が、危機意識を持って指導を行う必要がある。</li> <li>・安全に配慮する点がまだまだ不十分</li> <li>・不登校・不登校傾向児童生徒へ適切な対応を行っているが、組織として十分な成果は残せていない。</li> <li>・安全指導については、指導の徹底をはかっているが、自転車の運転については、交通ルールが守れない生徒が多く、地域の方からの苦情も多い。早急に改善する必要がある。</li> </ul>	
14 教育相談や個別の指導支援、関係機関との連携により、不登校・不登校傾向児童生徒へ適切な対応を行っている	B		
15 学校安全計画等により、計画的に安全を確保する取り組みを実施している。	B		
16 生徒は交通安全についてのルールを守って登下校を行っている	C		
17 計画的に道徳の授業が実践でき、全教育活動を通して道徳的実践力を高める指導を行っている。	B		
○生命を尊重する心や公共心、公德心などの道徳的実践力を育てる活動の実施	B		
○道徳の授業研究や資料の整備・交流	B		
○保護者等への道徳の公開授業	C		

#### 5. 家庭・地域との関係、開かれた学校づくり

評価設題	自己評価		学校関係者評価
	項目	現状	
18 授業や行事等を保護者・地域に公開し、学校情報を広報誌やHP等を活用して積極的に発信している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鯉のぼり祭り、夏祭りなど地域との交流はよくできている。</li> <li>・茶話会は保護者同士が思うことを自由に話せる雰囲気があったと思う</li> <li>・保護者同士の交流や学習の場を意図した参観、懇談会の実施については不十分であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの中学生が地域の行事に参加してくれているのはありがたい。また、は部活単位で多くの生徒が参加している。</li> <li>・地域行事の企画等に中学生の力が発揮できる場を。</li> <li>・地域力を高めていきたい。</li> </ul>
○地域行事等への生徒の積極的な参加	B		
○保護者の子育てに対する積極的な支援	C		
○保護者の悩みを聞く個別相談の実施	B		
○保護者同士の交流や学習の場を意図した参観、懇談会の実施	B		

19	保・幼・小・中の校園が、円滑な接続に向けた取り組みを実施している。		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の保幼少中連携事業において、中学校が事務局となり、成果をあげている。</li> <li>・真野北幼稚園の園児が体育大会に参加した。(玉入れなど)</li> <li>・真野教研等定期的に行われているので、校種間での交流は持っている。</li> <li>・真野教研では各校種の先生方からさまざまな話を聞くことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の連携を具体的に進めてほしい。たとえば、生徒会と児童会との交流や地域での協同的な作業での交流も考えては。地域でも協力したい。</li> </ul>
	○子どもの校種間交流や教員の出前授業		B		
	○校種間の合同研修会		B		
	○校種間の授業公開		C		

## 6. 施設設備等

	評価設題	自己評価		学校関係者評価	
		項目	項目	現 状	意見・提言等
20	施設・設備の点検は定期的実施され、改善や補修等が図られている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物へのいたずらはほとんど無いが、電灯のスイッチへのいたずらが何度か見られた。</li> <li>・清掃については、生徒の意識を高めるためにも、毎日実施するべきである。</li> <li>・担当教師による点検はしっかりできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何年か前に学校見学にきたたことがあるが、以前比べて格段に綺麗になっている。</li> <li>・ゴミの少ない学校になってきており、先生方の指導のおかげである。</li> <li>・校地周りの側溝に土砂が堆積していて、流れが悪くなっている。</li> </ul>
21	掃除、掲示物等校舎内外の環境美化のための指導はできている。	B			

## 7. 学校満足度

	評価設題	自己評価		学校関係者評価	
		項目	項目	現 状	意見・提言等
22	生徒が楽しく充実した学校生活を過ごせるように、創意工夫した教育活動を実施している。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校規模が縮小していくなかで、思い切った改革が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改革の必要性はわかるが、そのことで指導体制の縮小ではなく、小規模としての指導を充実してほしい</li> </ul>

## 8. 課題・改善策への取り組み

- ・学校関係者評価の概念がはっきりしない面がある。
- ・昨年度との比較ができるように工夫してほしい。